

2026年4月21日 若手士業情報交換会 結果報告

■内容

【第一部】参加者：11名

<前半> 「会計事務所のAIエージェント実装・運用最前線」

～生成AIを「使う」から、デジタル社員を「育成する」次世代の事務所経営へ～

講師 Vision Base 株式会社 取締役 AI コンサルタント 笠木 竜太 氏

<後半> 質疑応答・参加者でのディスカッション

議長 税理士法人西川会計 西川 豪康氏（税理士）

【第二部】交流懇親会

今回の若手士業情報交換会では、「会計事務所のAIエージェント実装・運用最前線」をテーマに、Vision Base 株式会社 取締役 AI コンサルタント 笠木竜太氏による講演と質疑応答、及び参加者同士のディスカッションを実施しました。

本講演では、生成AIの活用が「使う段階」から「業務を任せる段階」へと進化している点が強調されました。従来の生成AIが“相談相手”にとどまるのに対し、AIエージェントは“自律的に業務を実行するデジタル社員”として機能します。実務事例として、仕訳業務が5時間から約50分へ削減されたケースや、請求書130件の処理が1日から15分へ短縮された事例、資金繰りデータが毎朝自動配信される仕組みなどが紹介され、業務効率化の具体像が示されました。さらに、MCP（Model Context Protocol）を活用したツール連携により、会計ソフト等を横断した自動化が可能である点についても解説されました。また、導入にあたっては「ルール化」「ナレッジ化」「ヒューマンインザループ」の設計が重要であり、AIが定型業務の大部分を担い、人が最終判断を行う体制が有効であることが示されました。どの業務をAIに任せ、どの工程で人が介在するかを設計する力が、実務家に求められる重要な視点として提示されました。セキュリティについても、「規約・仕組み・人」の3層で管理する重要性が共有されました。

第一部後半では、ご講演いただいた笠木氏を交えて質疑応答およびディスカッションを実施し、MCPとRPA・APIの違いや導入コスト等について、現場経験に基づく実務的な知見が共有されました。あわせて、各事務所におけるAI活用についても意見交換が行われ、「まずは小さな成功事例を積み重ねること」の重要性が示されるなど、AIエージェント活用に向けた具体的な方向性を得られる機会となりました。

本講演は、オンデマンド（<https://bac.gr.jp/channel/>）で受講いただけます。

なお、Vision Base 株式会社の AI 活用化支援について、以下 URL でご案内いたします。
ご関心がある方は、BAC までご一報いただければ、お繋ぎいたします

◆Vision Base 株式会社のご提供サービス

<https://visionbase.co.jp/archives/service>

◆お問合せ先 ビジネス会計人クラブ東京事務局

TEL : 03-6206-6640 E-mail : bac-tokyo@bac.gr.jp

第二部の交流懇親会には、会計人に加え他土業の専門家も含め、計 26 名にご参加いただきました。今年ご入会された PSS 会員の参加も多く、新たなご縁の創出と今後の協働の可能性が期待される、実りある機会となりました。

【講演・ディスカッション】



【交流懇親会】

